

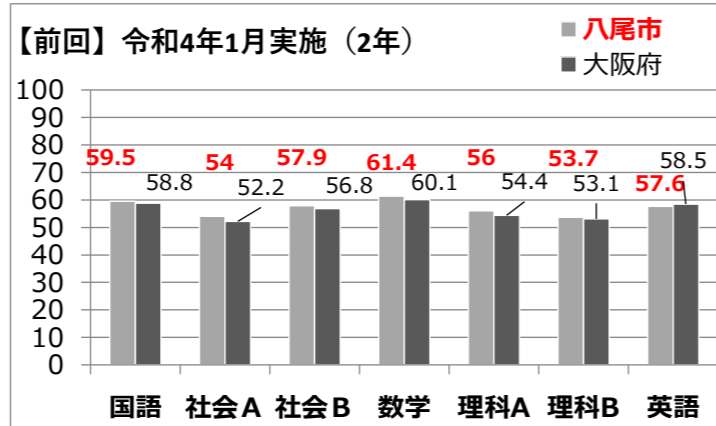
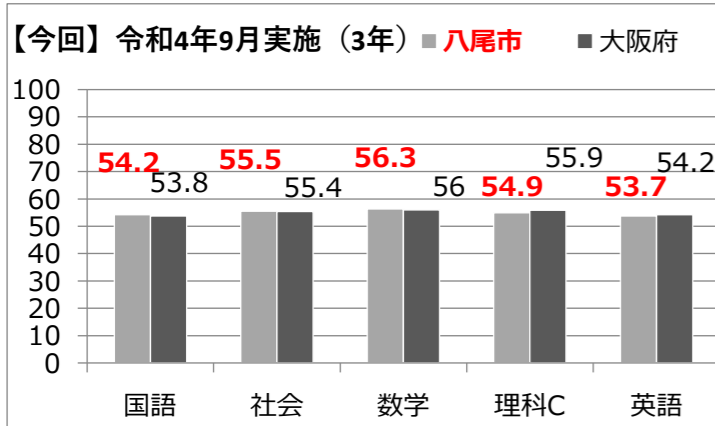
■ 調査の目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

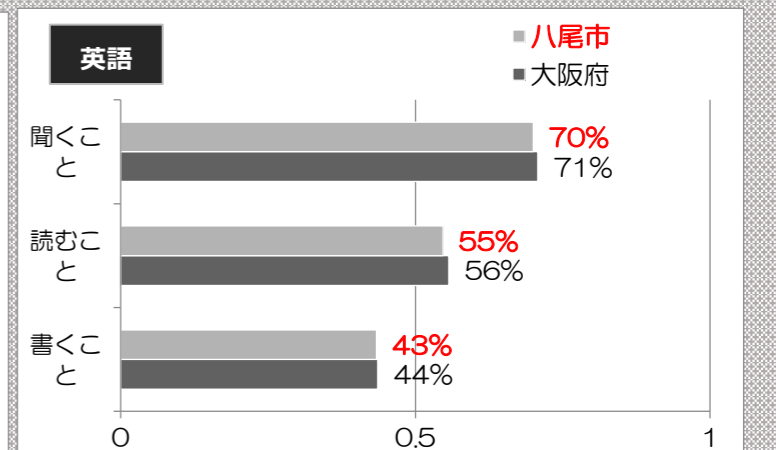
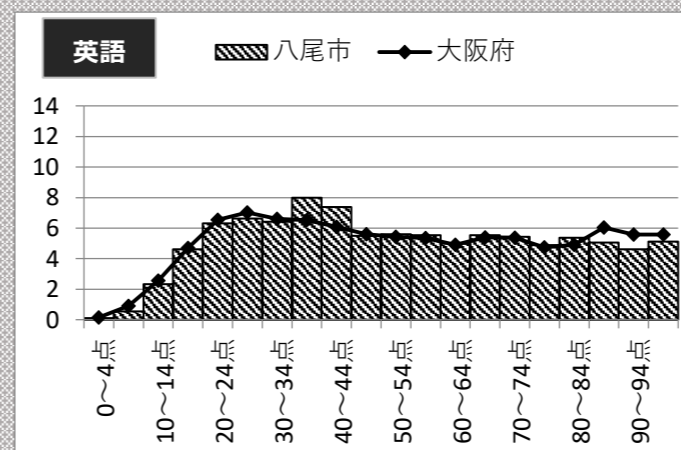
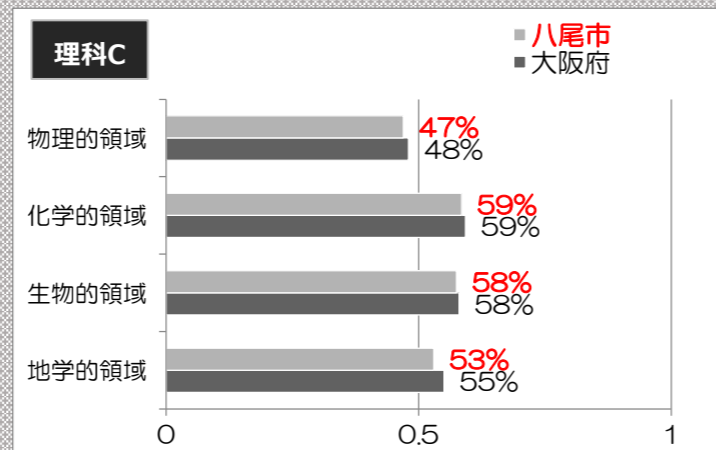
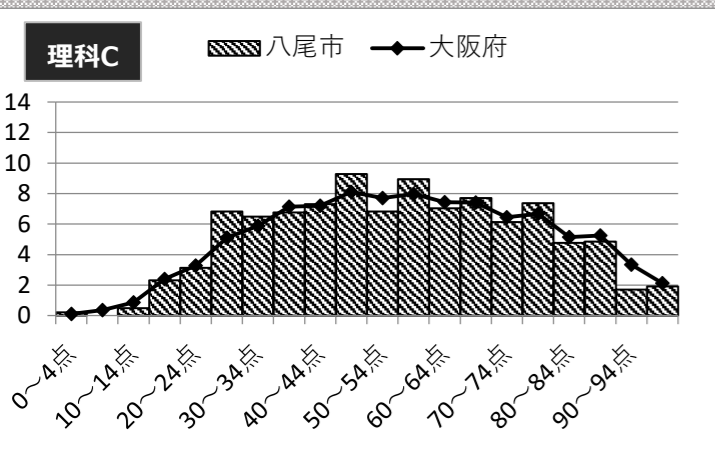
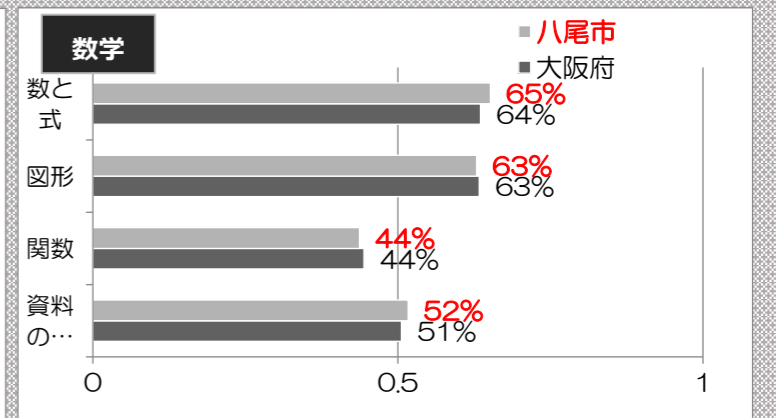
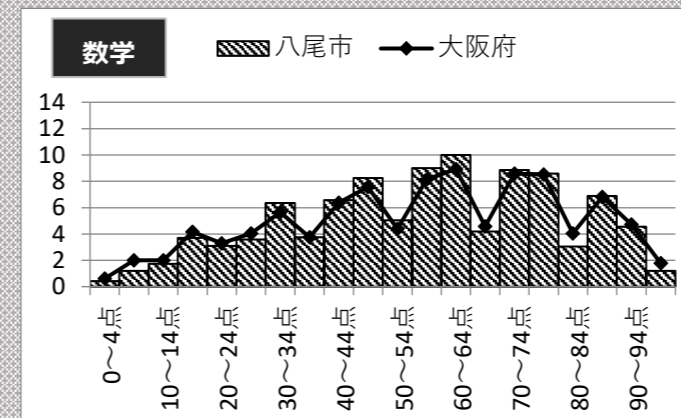
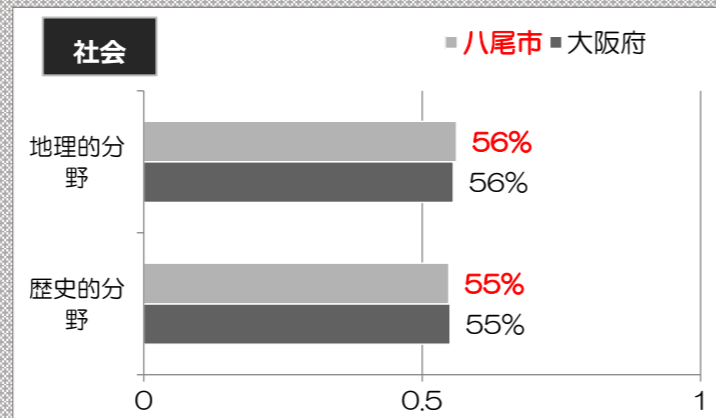
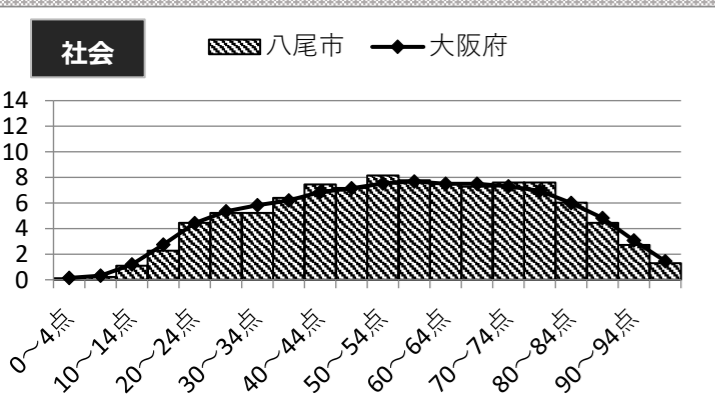
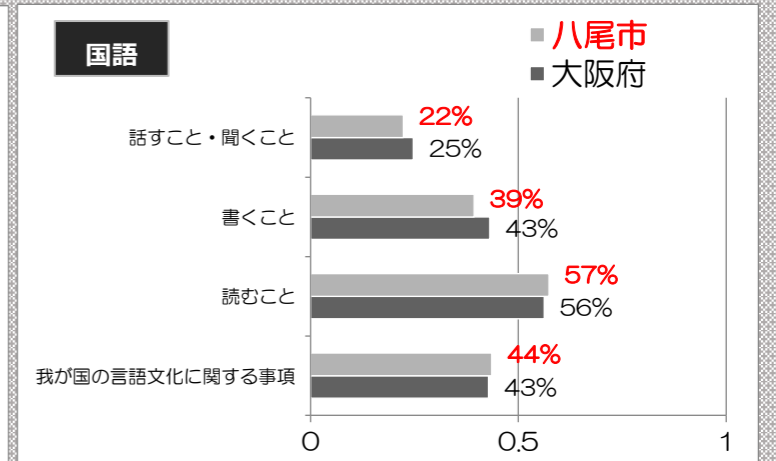
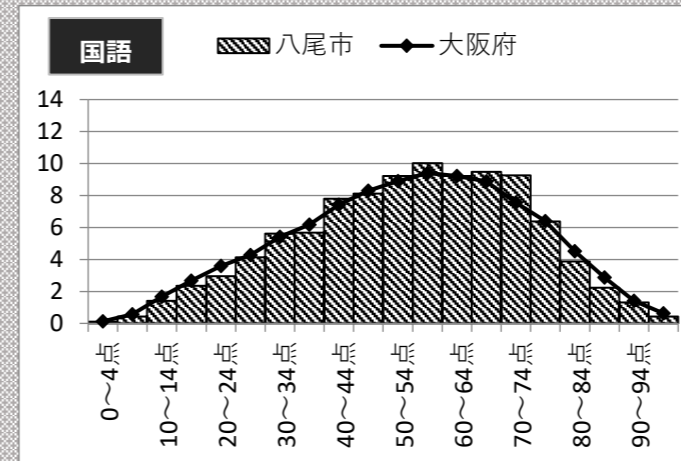
■ 調査の概要

- 「大阪府」とは大阪・公立学校の結果を表しています。
- 実施校数及び実施生徒数・・・15校
 中学校3年生及び義務教育学校9年(1840名)
- 学力に関する調査・・・国語、社会、数学、理科A、理科B、理科C、英語
 ※理科は学校毎の選択制であるため、12校が選択した理科Cを掲載しています。
- 生徒に対してのアンケート・・・8問

1. 経年比較

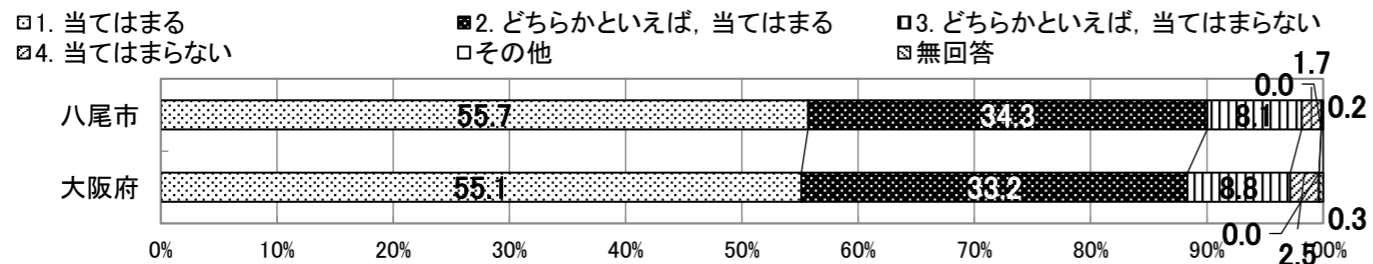


2. 教科別の結果【得点分布グラフ・区別別得点率】

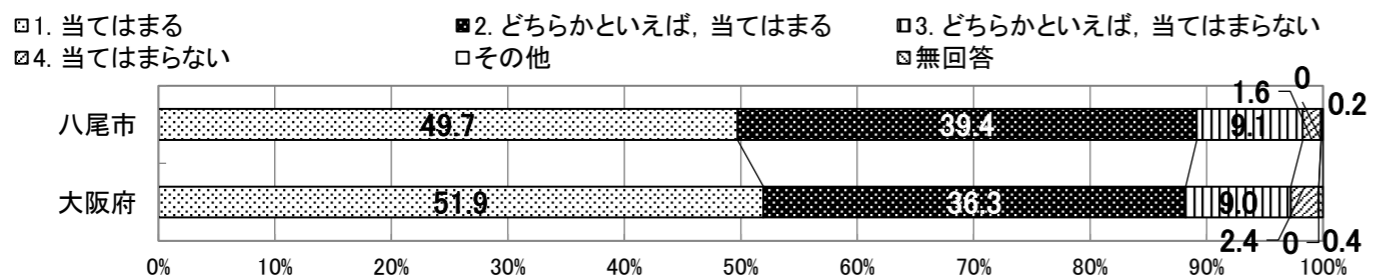


3. 生徒アンケート結果

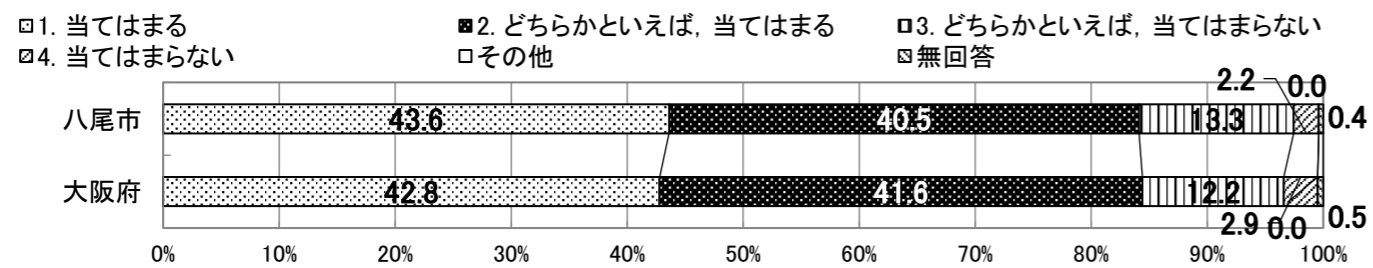
■ 1. 授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



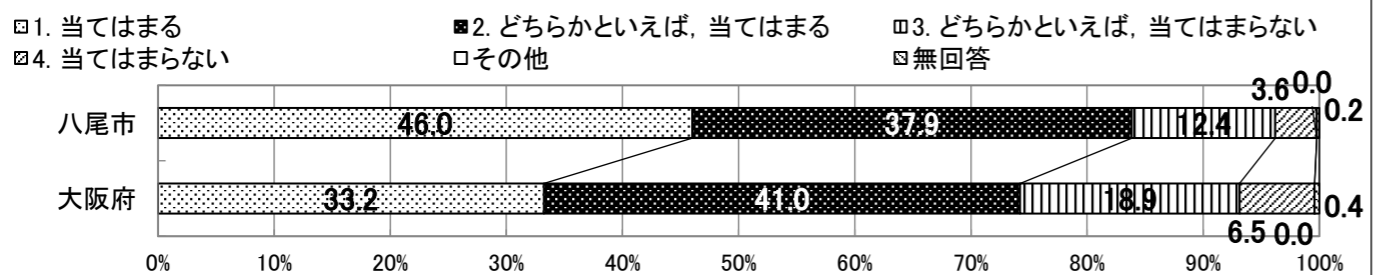
■ 2. 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



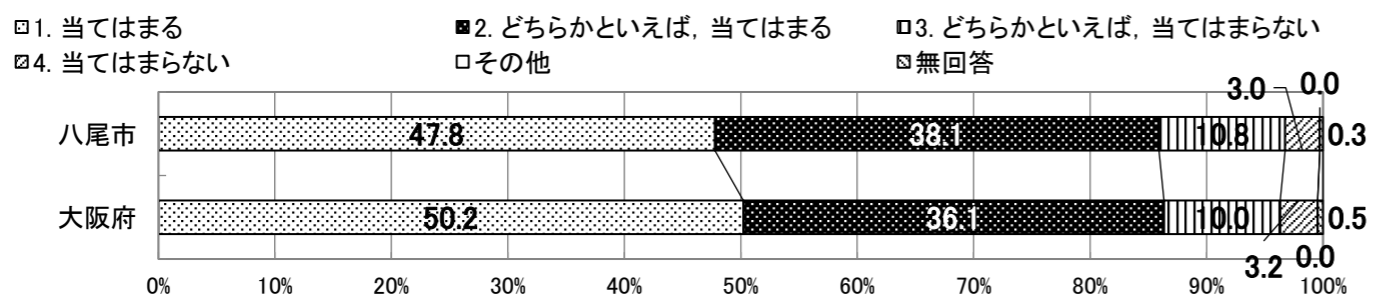
■ 3. 授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



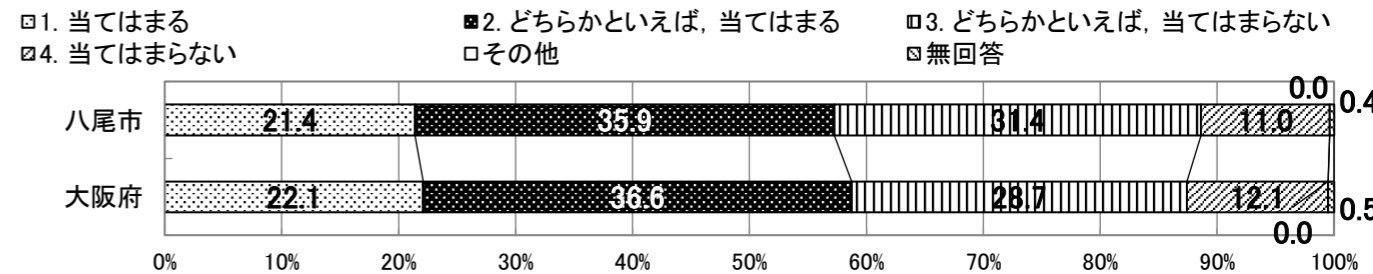
■ 4. 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



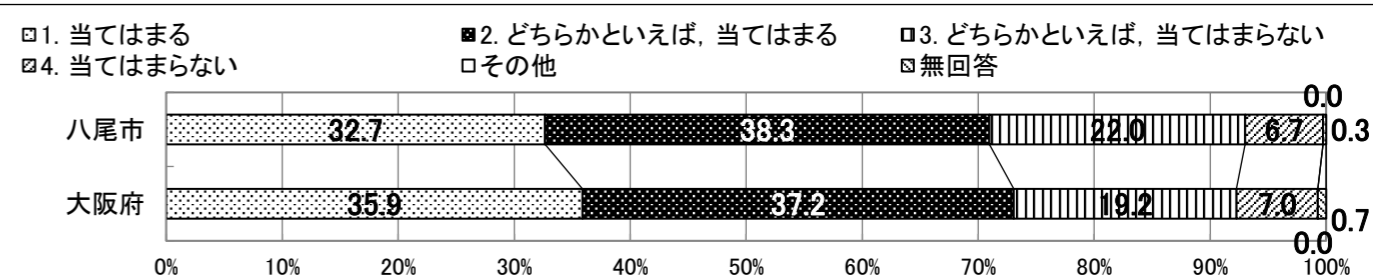
■ 5. 授業中、間違っても笑われない。



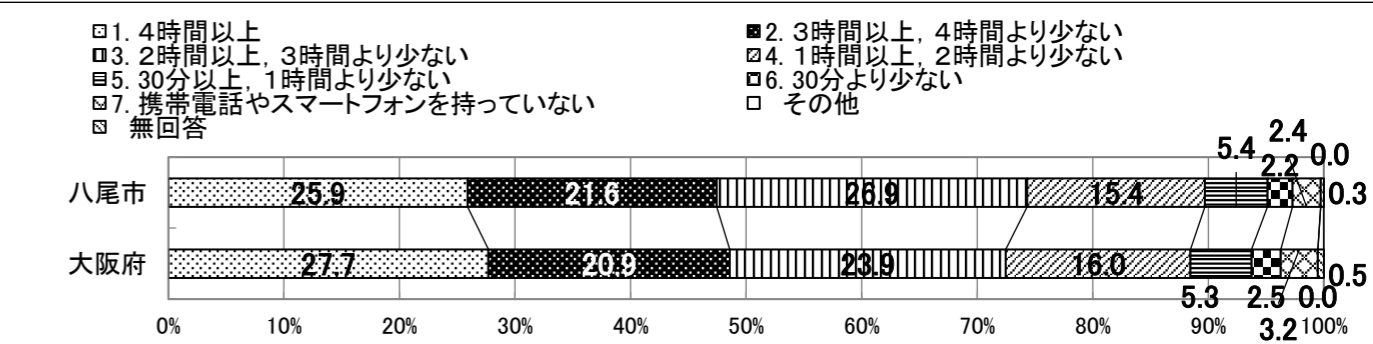
■ 6. 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



■ 7. テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



■ 8. 普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



【調査結果より】

本調査結果から、本市は国語、社会、数学が府の平均をわずかに上回り、理科、英語がわずかに府の平均を下回りました。また、授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動があると回答した生徒の割合が府の平均を大きく上回りました。各教科共通して、複数の文章や資料を読み、その内容を理解した上で説明したり、考えを書いたりすることが求められる問いに課題がありました。

今回の分析結果をもとに、復習に役立つ教材の活用や各学校においてもこれまでの学力向上の取組みの成果を踏まえ、「指導と評価の一体化」「言語活動の充実」「情報活用能力の育成」の取組みを推進し、「主体的・対話的で深い学び」へ発展させるような指導の改善につなげてまいります。

また、学力の定着に向けては、学校における学習指導に加え、家庭での望ましい生活習慣の確立とともに家庭学習習慣を確立することも必要です。今後も、保護者や地域の皆様のご協力・ご支援をお願いします。

MEMO